

4. トラブルとその対応事例

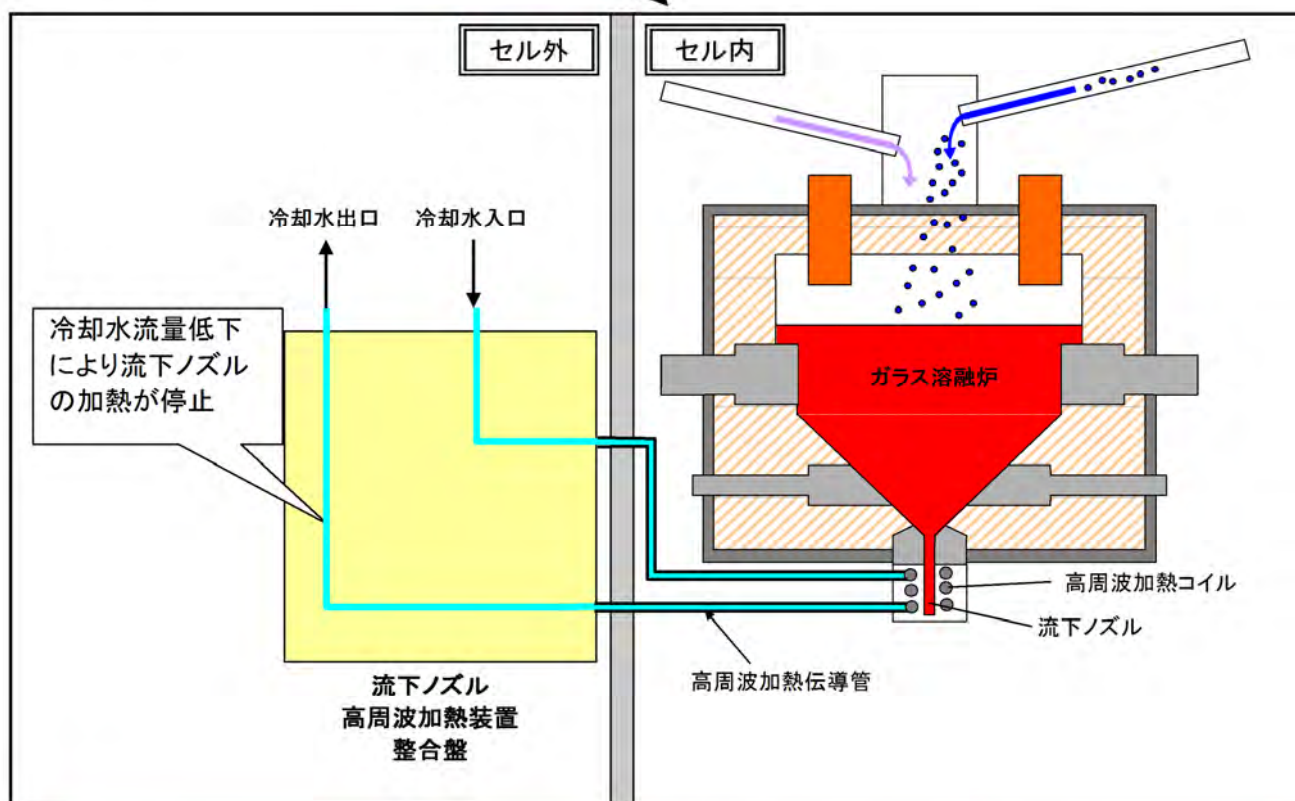
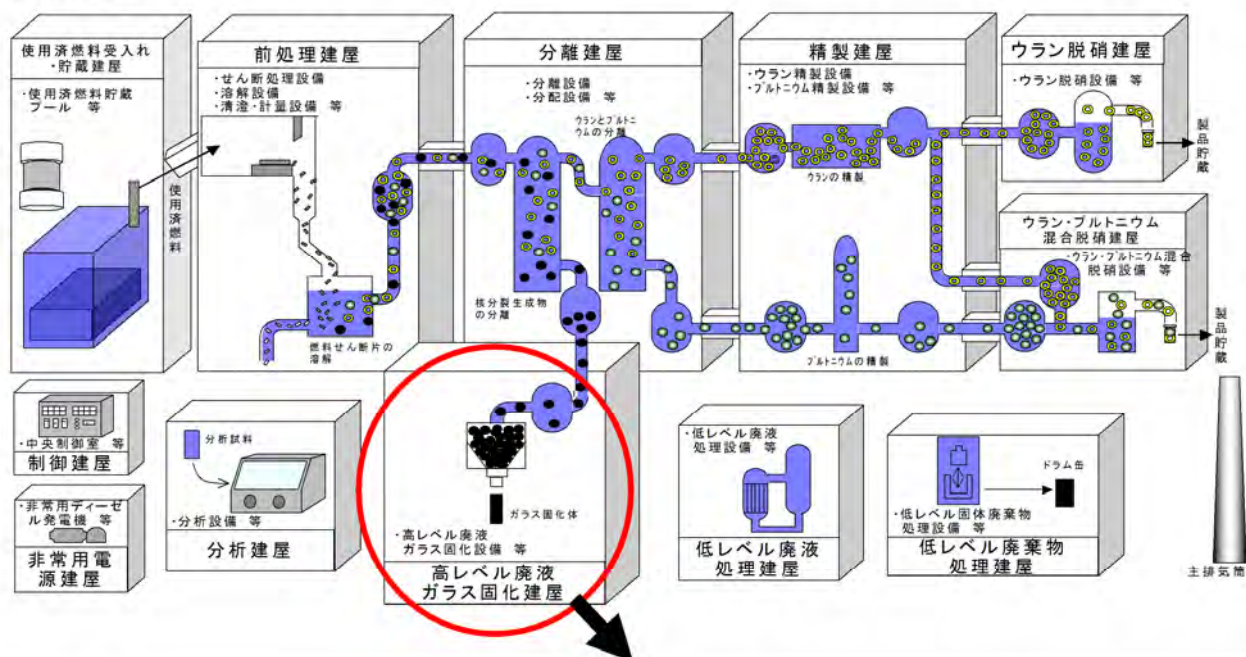
4 – 1. 発生が想定される軽微なトラブル事例

事象分類別 (i . その他)

9-23. ガラス溶融炉の高周波加熱装置の異常																	
事象の概要																	
(1)発生場所：機器		高レベル廃液ガラス固化建屋：ガラス溶融炉 高周波加熱装置															
(2)設備の概要		ガラス溶融炉内の溶融ガラスをガラス固化体容器（キャニスター）に注入する流下ノズルを高周波により加熱。															
(3)発生の状況		ガラス溶融炉の溶融ガラス流下時															
(4)概要		溶融ガラスの流下中に流下ノズル高周波加熱装置整合盤内の冷却水の流量低下により流下ノズルの加熱が停止し、溶融ガラスの流下が停止。															
(5)原因		運転を継続する中で偶発的に発生する流量調整不良。															
事象による影響																	
(1)工場外への影響		工場外への影響は生じない。 放射性物質を除去するフィルタ等を有する高レベル廃液ガラス固化建屋の固化セル換気設備が稼働している室内での事象およびそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。なお、本事象は放射性物質の漏えいを伴うものではない。															
(2)安全性への影響		安全性への影響は生じない。 溶融ガラスの流下は停止するが、ガラス溶融炉の保持運転状態を維持することで、それ以上事象の進展はなく、安全性への影響は生じない。															
(3)作業員への影響		作業員への影響は生じない。 整合盤の調査・復旧はセル外で実施し、セル内の調査・復旧はセル外からの遠隔作業で行うため、作業員への影響は生じない。															
(4)他工程への影響		他工程への影響は生じない。 復旧作業は、ガラス溶融炉の運転を一時的に停止するが、通常は上流側の貯槽（高レベル廃液貯槽）の空き容量の範囲内で上流工程は運転を継続出来ることから、他工程への影響は生じない。															
対応の概要		1.整合盤内を含めた系統の調査、冷却水流量の調整をする。 2.セル外の系統を確認するとともに、セル内は、I T Vカメラ等により高周波加熱伝導管接続部周辺の外観を観察し、状況を把握する。 3.系統の不良箇所を特定し、清掃・調整等の対応を実施する。不良箇所がセル内であれば遠隔保守機器を用いて調整等を実施する。															
公表区分		毎月集約して月 1 回公表（ホームページへ掲載）															
連絡区分*		<table><tr><th colspan="3">トラブル情報</th><th colspan="3">運転情報</th></tr><tr><td>A 情報</td><td>B 情報</td><td>C 情報</td><td>ごく軽度な機器故障</td><td>清掃・調整等で復旧可能な機器停止等</td><td>不適合等</td></tr></table>				トラブル情報			運転情報			A 情報	B 情報	C 情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等
トラブル情報			運転情報														
A 情報	B 情報	C 情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等												

*：『A情報』：安全協定報告事象等、または、それに準ずる事象、『B情報』：事象の進展または状況の変化によっては、安全協定報告対象になるおそれのある事象等、『C情報』：A、B情報に該当しない軽度な不具合、汚染等、特に連絡を要する事象

事象概要



復旧方法

清掃や調整により復旧

トラブル等に伴う設備への影響範囲

当該設備を停止して復旧

